

「令和3年 学校林現況調査」記入方法

学校林が複数所在する場合は、お手数ですが現況調査票をコピーしていただき、学校林ごとにご記入ください。なお、学校林が小班等で細かく分かれている場合も、一括して同じ主体・内容で管理・利用されている場合は、合算した数字をご記入ください（別の管理や利用をされている場合は、別の用紙にご記入ください）

調査対象とする学校林及び保有校

学校が所有（分収林契約等を含む）している森林、または教科・特別活動等において環境教育、体験活動に利用している森林を「学校林」として、次のような形態のものが該当します。

- (1) 学校が所有しているもの
- (2) 国有林、公有林、私有林と分収林契約しているもの
- (3) 公有林、私有林と借地契約や使用協定をしているもの
- (4) 国有林と「遊々の森」などの協定をしているもの
- (5) その他、公有林、私有林、森林公園等との申し合わせ等（有償・無償、書面・口頭を問わない）により、一定期間（3年以上）利用しているもの

*公有林＝都道府県有林、市町村有林、財産区有林等

お願い

学校名：「〇〇市立△△小学校」のように設置者がわかる正式な名称をご記入ください。

記入者：実際にご記入いただいた担当者のお名前をご記入ください。

緑の少年団：学校・地区単位での、緑の少年団結成の有・無についてご選択ください。

創立年：統合があった場合、統合前の旧学校林保有校の創立年をご記入ください。

学校林の共有：他校と学校林を共有されている場合は、その相手先名をご記入ください。

複数校で記入が困難な場合は、特記事項欄をご活用ください。

<学校林の状況>

1.学校林の名称： 学校林の名称(愛称)をご記入ください。

2.学校林設置・利用開始年： 元号を選択してご記入ください。

3.面積： 学校林の面積を ha（ヘクタール） でご記入ください(小数点以下第二位まで)。
他の単位で把握されている場合は、haに換算されるか単位を明記してください。

4.学校との距離（校舎からの移動距離）： 以下から選択してください。

1「校地内」 2「隣接地」 3「1km/徒歩20分以内」

4「1kmより遠い」（具体的な距離（km））を記入してください

5.権利関係:

5-1. 学校林の現在の主な土地所有者を以下から一つ選択してください。

- 1 市町村(学校敷地(市町村立学校の場合)、もしくは市町村有林等)
- 2 都道府県(学校敷地(都道府県立学校の場合)、もしくは都道府県有林等)
- 3 国(国有林、その他の国有地)
- 4 財産区
- 5 一部事務組合
- 6 生産森林組合
- 7 財団法人
- 8 社団法人
- 9 認可地縁団体
- 10 NPO法人
- 11 その他の共有林管理団体など(集落有、社寺有、大字有、記名共有などを含む)
- 12 学校法人(私立学校の場合)
- 13 企業(会社法人、組合法人など)
- 14 個人
- 15 その他

5-2. 形態（土地所有者との権利関係）を以下から一つ選択してください。

- 1 学校設置者や地区の団体などの所有
- 2 分収林などの契約(国有林、公有林における学校分収林など)
- 3 借地などの契約(所有者との契約による有期、無期の借地)
- 4 使用許可・利用協定(口頭での了解等も含む)
- 5 その他

6.主な樹種: 以下から学校林の主な樹種を選択してください(針葉樹も広葉樹も主な樹種と考えられる場合等は複数選択をしてください)。

- 1.針葉樹 2.広葉樹 3.竹 4.果樹 5.その他 6.不明

主な樹種の名称を5種類までご記入ください（おわかりになる範囲で結構です）

7.管理作業: 学校林の管理作業の従事者について、作業者 a~lの各欄に作業頻度を以下から選択して記入してください。作業に従事していない欄については空白で構いません。

- 1 「ほぼ毎日」 2 「毎週」 3 「毎月」 4 「学期、季節ごと」
5 「年に一回」 6 「数年に一回」 7 「頻度不明」

*h.共有林団体、地縁団体・・・財産区、生産森林組合、地区の共有林管理組織、
地縁団体(地区、自治会、町会、町内会等)

8.設置・利用開始時の目的: 学校林が設置、利用開始された当時の主な目的（現在の利用内容とは異なる場合もあります）について以下から選択して数字でご記入ください(複数選択能)。

- 1 学校の基本財産、建築・燃料資材としての利用
- 2 教科・特別活動等での利用（社会・理科等、高校等の林業関係専門教科・実習等）
- 3 課外活動での利用（緑の少年団、緑化委員会等）
- 4 地域活動による林業奉仕・体験等（林業教育での利用）
- 5 地域活動による自然観察・体験等（環境教育での利用）
- 6 その他
- 7 不明

9.今後の方針: 学校林の面積について、今後の方針を以下から一つ選択してください。
また、「2 拡大」「3 縮小、廃止」の場合は、その理由を選択してください。

- 1 現状維持
- 2 拡大
- 3 縮小、廃止
- 4 不明

（拡大の理由：主なものを一つ選択）

- 1 教育利用の需要増加
- 2 木材利用の拡大
- 3 地元、外部団体等との協力体制
- 4 助成金の獲得
- 5 土地所有者の意向
- 6 その他

（縮小、廃止の理由：主なものを一つ選択）

- 1 当初の目的を喪失(もしくは達成)
- 2 借地、分収契約、利用協定の期限切れ
- 3 管理が負担
- 4 土地を学校の他の施設に充当
- 5 開発等、学校外での土地利用変化
- 6 その他

<学校林の利用>

10.利用の有無:

10-1.新型コロナウイルスの流行により、令和2年度の学校林利用に変化はありましたか？

- 1 以前と同規模で活動実施した
- 2 規模・回数は縮小したが、活動実施した
- 3 活動を予定していたが、全て中止した
- 4 以前から学校林を利用していない

今回調査では新型コロナウイルス流行による状況変化が予想されます。そのため利用状況、形態、内容については新型コロナウイルスの影響のなかった令和元年度以前についてご回答ください。

10-2.学校林の利用の有無について、（有 無）を選択してください。

ご記入にあたっては、令和元年度以前の利用状況からご判断ください。

利用が無の場合、主たる理由を一つ以下から選択してください。

- 1 学校林への距離が遠い
- 2 教育時間が確保できない
- 3 森林の管理が行き届かず、安全に懸念
- 4 その他

11.利用形態: **【10.の設問で利用が有の場合】**、以下についてご回答ください。

設置時の目的に拘わらず、実際の利用についてお答えください。a~jについて、それぞれ利用頻度を以下から選択してください。**実施の無い欄は空白**で構いません。ご記入にあたっては、**令和元年度以前の利用**からご判断ください。

- a. 「基本財産としての維持・管理」：植林、下刈り、枝打ち、間伐等
- b. 「教科」：教科教育での利用
- c. 「総合」：総合的な学習の時間での利用
- d. 「生徒会」：児童会、生徒会、または委員会活動での利用
- e. 「特別」：緑の少年団活動や全校行事など特別活動での利用
- f. 「課外」：部活動、同好会活動、放課後の活動での利用
- g. 「地域」：地域への開放、市民団体の利用
- h. 「他の学校」：他の小学校、中学校、高等学校の利用
- i. 「幼稚園」：幼稚園、保育園の利用。森のようちえん等
- j. 「その他」

(利用頻度)

- | | | | |
|--------|---------|------|-----------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 毎週 | 3 毎月 | 4 学期、季節ごと |
| 5 年に一回 | 6 数年に一回 | 7 不明 | |

12.利用内容: **【10.の設問で利用が有の場合】**、学校林の利用内容について、以下のキーワードからあてはまる活動内容を、代表的なものを**5つまで**選択してください。ご記入にあたっては、**令和元年度以前の利用**からご判断ください。

- | | | | | |
|-------------------|----------|----------|----------|-----------|
| 1 植林・植樹 | 2 下草刈枝打ち | 3 清掃 | 4 名札 | 5 植物観察 |
| 6 動物観察 | 7 植物採集 | 8 動物採集 | 9 植物調査 | 10 動物調査 |
| 11 地域調査 | 12 森林の機能 | 13 測樹 | 14 森で働く人 | 15 巣箱 |
| 16 工作 | 17 ヨガ | 18 炭焼き | 19 絵を描く | 20 詩を作る |
| 21 読書 | 22 音楽 | 23 散策 | 24 腐葉土作り | 25 探検 |
| 26 基地 | 27 体育 | 28 ゲーム | 29 森林教室 | 30 椎茸栽培 |
| 31 養蚕 | 32 その他栽培 | 33 山菜茸採り | 34 料理 | 35 僕の木私の木 |
| 36 マラソン・トレイルランニング | 37 キャンプ | 38 登山 | 39 山小屋作り | 40 ビオトープ |
| 41 オリエンテーリング | 42 木登り | 43 間伐体験 | 44 生物多様性 | 45 里山保全 |
| 46 スキー・スノーシュー | 47 自転車 | 48 草木染め | 49 薪利用 | 50 その他 |

13.今後の利用方針： 学校林利用の今後の方針について選択してください。

- 1 現状維持
- 2 利用時間を拡大（再開）
- 3 利用時間を縮小（廃止）

利用時間を縮小（廃止）する場合、主たる理由を一つ選択してください。

- 1 学校林への距離が遠い
- 2 教育時間が確保できない
- 3 森林の管理が行き届かず、利用が困難
- 4 コロナウイルス対策の影響
- 5 担当教員の異動
- 6 学校林を廃止するため
- 7 その他

14.木材の伐採・利用： 学校林での木材伐採について、最近の伐採年（元号を選択）をお答えください。また、その利用内容についてお答えください(複数選択可能)。
伐採実績が無い・記録不明な場合は空白で構いません。

- 1 木材を売却して、学校運営に寄与
- 2 校舎建築・改築に使用(構造・柱・内装等)
- 3 机、椅子、本棚、遊具の制作
- 4 図工や美術、技術科等で、工作の材料として使用
- 5 燃料としての利用
- 6 利用なし（伐採のみで利用せず、未定）
- 7 その他

15.利用上の問題点： 学校林を利用する上での問題点を以下から選択してください。

(複数選択可能)

- 1 教職員の森林に関する知識、指導体制
- 2 教育時間の確保
- 3 安全管理（危険生物への対策等を含む）
- 4 遊具、トイレ等の施設、設備
- 5 木材価格の低迷
- 6 伐採、下刈り等の技術、道具の不備
- 7 コロナウイルス感染予防対策
- 8 その他(具体的に記入ください)

16.行政、各種団体等からの支援、地域社会との連携:

16-1.行政機関、地域住民、森林組合や林業関係団体、NPO法人等からの、学校林利用に関わる支援や連携の状況について、(有 無)を選択してください。

有の場合、その支援主体連携先と内容について、その組み合わせをお答えください。

(9組まで選択可能)

<主体>

- 1 市町村
- 2 都道府県
- 3 国(国有林等)
- 4 森林組合、林業団体
- 5 財産区、地区の共有林管理組織、地縁団体(地区、自治会、町会等)
- 6 市民団体、NPO法人、助成財団等
- 7 企業
- 8 個人
- 9 その他

<内容>

- 1 活動への資金助成、補助(苗木や用具提供も含む)
- 2 講師派遣(林業体験、自然観察、歴史授業など)
- 3 学校林の環境整備・管理作業の実施
- 4 各団体主催イベント、企画の実施(学校林の開放)
- 5 その他

16-2. それらの支援主体(団体)との間を仲介する組織・個人、森林環境教育を実施する上で各種相談できる個人・窓口等の存在について、(有 無)を選択していただき、名称をお答えください(個人の場合は肩書き等)。
具体的な相談内容は自由記述欄にご記入ください。

17.学校林を防災拠点、施設として位置づけていますか？(有 無)を選択してください。

また、有の場合その内容を選択してください(複数選択可能)。

- 1 避難場所
- 2 土砂防備、防潮林等の保安機能
- 3 その他

最後に、学校林活動に関する特記事項、活動実施に必要な支援、これまでのコンクール等の参加、表彰歴等の実績、その他ご意見等がございましたら、お願いします。

ご協力、ありがとうございました。